

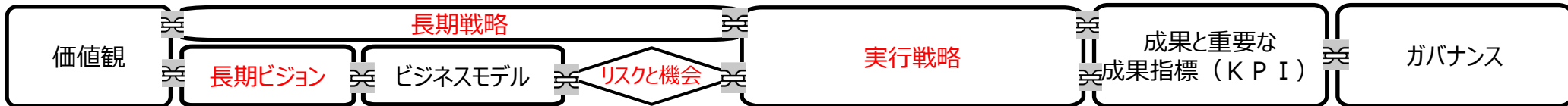
事務局説明資料 (改訂価値協創ガイダンスの全体図案)

2021年12月14日

経済産業政策局

産業資金課・企業会計室

改訂価値協創ガイダンスの全体図案 ※ 赤字は現行からの構成上の改訂予定箇所



社会の長期的な持続可能性を展望し、企業の持続可能性と同期化

<p>1.1. 価値観を定める意義</p> <p>1.2. 重要課題・マテリアリティ</p>	<p>2-1.1. 社会への長期的な価値提供に向けての目指す姿</p> <p>2-2.2. 対象期間の設定</p>	<p>2-2.1. 市場勢力図における位置づけ</p> <p>2-2.1.1. 付加価値連鎖（バリューチェーン）における位置づけ</p> <p>2-2.1.2. 差別化要素及びその持続性</p>	<p>2-3.1. ESGに対する認識</p> <p>2-3.2. 主要なステークホルダーとの関係性の維持</p>	<p>3.1. ESGやグローバルな社会課題（SDGs等）の戦略への組込</p> <p>3.2. バリューチェーンにおける影響力強化、事業ポジションの改善</p> <p>3.3. 事業売却・撤退戦略を含む事業ポートフォリオマネジメント戦略</p> <p>3.4. 人的資本への投資・人材戦略</p>	<p>4.1. 財務パフォーマンス</p> <p>4.1.1. 財政状態及び経営成績の分析(MD&A等)</p> <p>4.1.2. 経済的価値・株主価値の創出状況</p>	<p>5.1. 取締役会と経営陣の役割・機能分担</p> <p>5.2. 経営課題解決にふさわしい取締役会の持続性</p> <p>5.3. 社長、経営陣のスキル及び多様性</p> <p>5.4. 社外役員のスキル及び多様性</p> <p>5.5. 戦略的意思決定の監督・評価</p> <p>5.6. 利益分配の方針</p> <p>5.7. 役員報酬制度の設計と結果</p> <p>5.8. 取締役会の実効性評価のプロセスと経営課題</p>
		<p>2-2.2. 競争優位を確保するために不可欠な要素</p> <p>2-2.2.1. 競争優位の源泉となる経営資源・無形資産</p> <p>2-2.2.2. 競争優位を支えるステークホルダーとの関係</p> <p>2-2.2.3. 収益構造・牽引要素（ドライバー）</p>	<p>2-3.3. 事業環境の変化への対応</p> <p>2-3.3.1. 技術変化の早さとその影響</p> <p>2-3.3.2. カントリーリスク</p> <p>2-3.3.3. クロスボーダーリスク</p>	<p>3.5. 知的財産を含む無形資産等の確保・強化に向けた投資戦略（P）</p> <p>3.5.1. 技術（知的資本）への投資</p> <p>3.5.1.1. 研究開発投資</p> <p>3.5.1.2. IT・ソフトウェア投資及びDX投資</p> <p>3.5.2. ブランド・顧客基盤構築</p> <p>3.5.3. 企業内外の組織づくり</p> <p>3.5.4. 成長加速の時間を短縮する方策</p> <p>3.6. イノベーション創出のための組織的なプロセスの確立・推進</p>	<p>4.2. 戦略の進捗を示す独自KPIの設定（社会に提供する価値に関するKPIを含む）</p> <p>4.3. 企業価値創造と独自KPIの接続による価値創造設計</p> <p>4.4. 資本コストに対する認識</p> <p>4.5. 企業価値創造の達成度評価</p>	



実質的な対話・エンゲージメント

取締役会、執行・経営会議の役割分担とコミットメントの下、投資家との対話・エンゲージメントを深め、価値創造ストーリーを磨き上げる

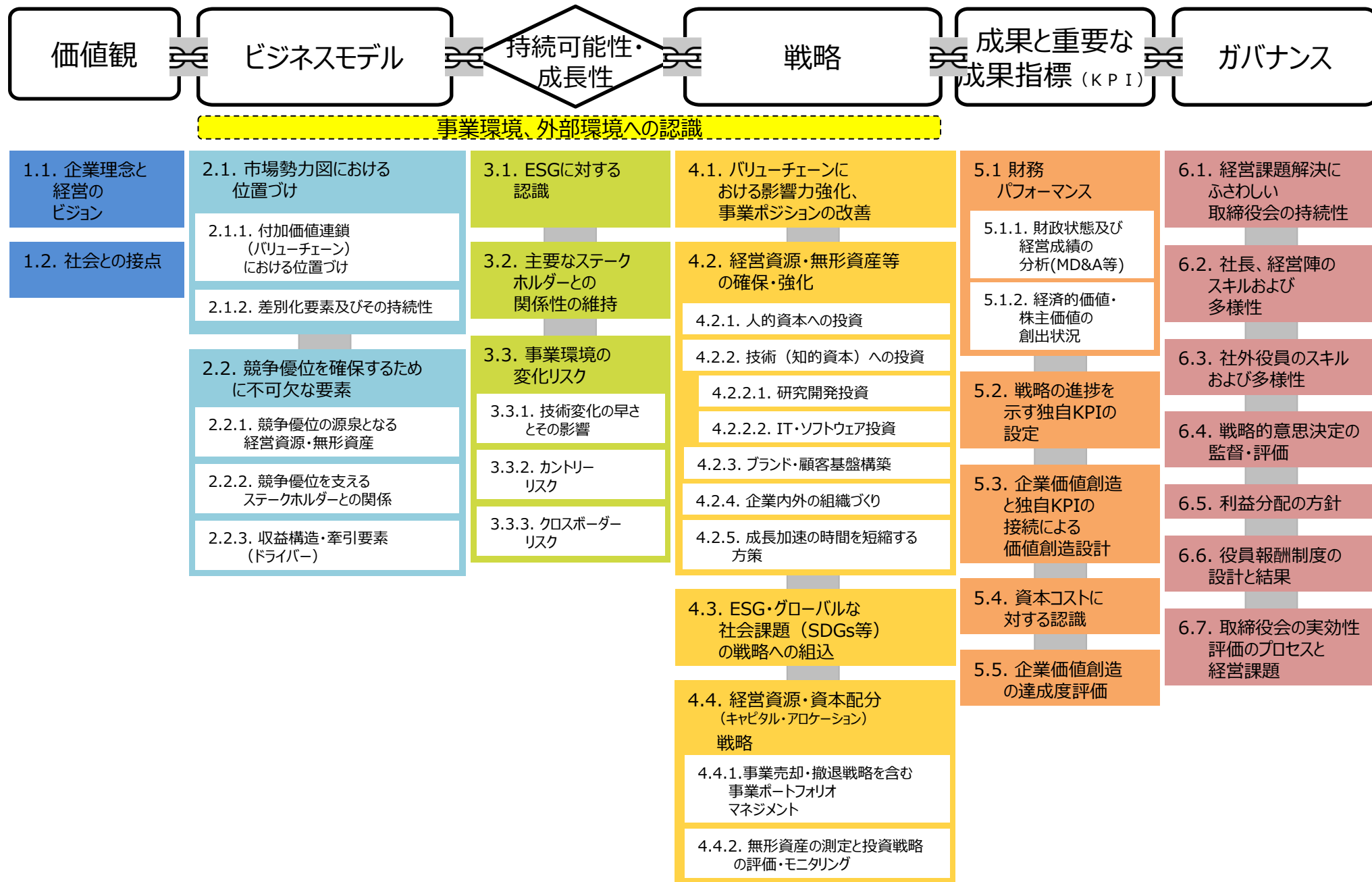
6.1. 対話等の原則

6.2. 対話等の内容

6.3. 対話等の手法

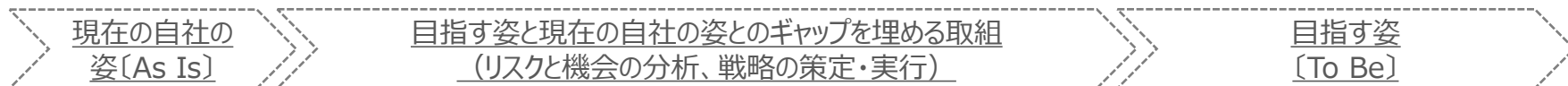
6.4. 対話等の後のアクション

(参考) 現行価値協創ガイダンスの全体図



価値観

- ・ 社会の課題解決に対して企業・社員一人一人が採るべき行動の判断軸、判断の拠り所
- ・ 企業理念等の価値観に基づき、長期戦略に落とし込んでいく社会課題を重要課題として特定



長期戦略

現在の自社の事業状況やポジショニングに関する分析、競争優位性・強みの把握

現状の延長線上
のリスクと機会
を分析

リスクと機会

- ・ 長期的なリスク要因や事業機会となりうる要因を把握・分析

分析結果を
実行戦略に反映

目指す姿に影響
を与えるリスク
と機会を分析

長期ビジョン

- ・ 特定の長期の期間においてどのように社会に価値を提供していくかという目指す姿

ビジネスモデル

- ・ 価値観を事業化し、“稼ぐ力”を示す設計図
- ・ 長期ビジョンに基づき、必要に応じて既存のビジネスモデルを変革

実行戦略

- ・ 長期戦略を具体化するため、足下及び中長期的に取り組む方策 (事業ポートフォリオ戦略、人的資本への投資・人材戦略、知財を含む無形資産投資戦略、イノベーション創出のための組織的プロセスの確立)

目指す姿を実現
するための実行
戦略を策定・
推進

成果と重要な成果指標 (KPI)

- ・ 長期戦略等に基づき、どのくらい価値を創出してきたか等を示し、進捗管理・成果評価・戦略見直しに活用する指標

ガバナンス

- ・ 長期戦略等の策定・実行・検証を通じて、長期的・持続的に企業価値を高める方向に企業を規律付ける仕組み・機能